

第 1 回部会 委員発表概要

1. 「新しい学び」について（天笠委員）
2. ICT活用の観点から見た新たな学びの姿と教室環境（野中委員）
3. つくば市・みどりの学園の先進的ICT教育（毛利委員）

1. 「新しい学び」について（天笠委員）

●発表の概要

1. 中央教育審議会初等中等教育分科会（「答申」）の概要

- 全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現
- 子供がICTも活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、「個に応じた指導」を充実することが必要

2. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を実現する

3. 指導方法の多様化とICTの活用

- 教師への期待、これまでの実践とICTとの最適な組合せ

4. 「授業時数の弾力化」について

- 学校裁量の幅の拡大の一環として、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を提起

5. 教育課程の編成-履修主義・修得主義の適切な組合せ-

（義務教育段階）

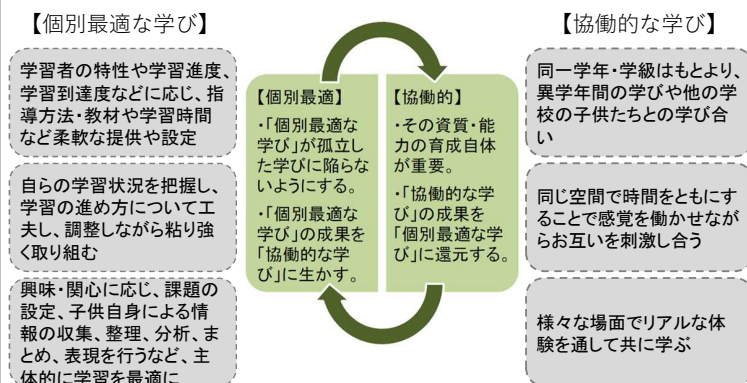
- 進級や卒業の要件としては年齢主義に基本を置く
- 教育課程を履修したと判断した基準については、履修主義と修得主義を適切に組み合わせる

- それぞれの長所を取り入れた教育課程をめざす

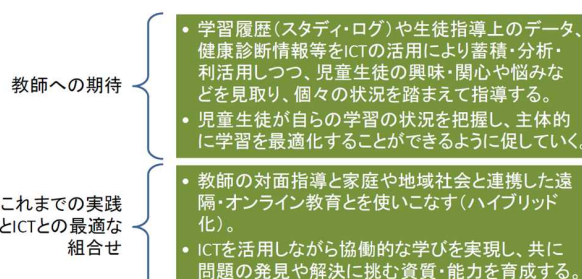
（高等学校段階）

- 修得主義と課程主義の要素が取り入れられていることを踏まえて教育課程を検討

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を実現する



指導方法の多様化とICTの活用



2. ICT活用の観点から見た新たな学びの姿と教室環境（野中委員）

●発表の概要

1. 1人1台端末環境での学び（学びの転換）

- 学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力
- 一斉学習から個別学習、協働学習にシフトした普通教室の在り方の検討が必要

2. 教えるための教室環境から学ぶための教室環境へ

- 諸外国の教室（机の配置、黒板、特別教室）
- 教室の大きさ・形は多様、学習用の机はグループ型配置

3. ポストコロナ時代の新たな学び（少人数の視点）

- 遠隔教育、ハイブリッド対応（音声、2画面）

4. GIGAスクール構想による全く新しいICT環境

- 机の大きさや機材の設置スペース、設置方法等が課題
- クラウド上でのコミュニケーションや協働作業時には教室（机の配置）という概念は不要になる？

1人1台端末を活かした学びの変容
～一斉学習から多様な学習活動を展開する学びの場へ～



初期のフューチャースクール
(2011, 小学校)

フューチャースクール
(2012, 中学校)



総合的な学習での活用



教科の授業の中で
調べ学習、プレゼン



フューチャースクール
附属横浜中学校, 2013

(第1回部会委員発表資料を基に概要資料を作成)

3. つくば市・みどりの学園の先進的ICT教育（毛利委員）

●発表の概要

1. 21世紀型スキルを育み子供が輝くつくば市ICT教育

- ・世界のあしたが見える学校 みどりの学園ランドデザイン
- ・ワクワクする学びを実現する最先端ICT環境

2. オンライン学習

- ・オンライン学習動画作成（500本以上）
- ・学年教科を超えた、いつでもどこでも学べる「つくば教育クラウド」
- ・分散登校、自宅での学習

3. ネットワークを活用したICT教育

- ・全員授業参加型アクティブ・ラーニング、各教科での取組事例
- ・登校できない児童にライブ配信
- ・超高速インターネット5Gでテレビ会議

4. 先進的教育を推進するための課題

- ・GIGAスクール1人1台環境：超高速インターネット、校内どこでも高速無線LAN
- ・デジタル教科書等の提示：大型提示装置（70インチ以上）、できれば壁埋込
- ・教室でのPC活用：タブレットが利用できる大型天板机
- ・オンライン・リモート授業対応：各教室や児童生徒用個室
- ・プログラミング、アクティブラーニング：円形テーブル、プログラミング用高速処理PC

21世紀型スキルを育み子供が輝くつくば市ICT教育



ワクワクする学びを実現する最先端ICT環境



(第1回部会委員発表資料を基に概要資料を作成)